

平成30年度の主な事業報告

社会福祉法人 天水福祉事業会

社会福祉事業

高齢者福祉事業

介護する人や場所が変わると混乱しやすい高齢者、特に認知症高齢者の入居生活を、自宅のように安心して過ごせる家庭的な雰囲気、柔軟なサービス、顔の見えるユニットケアにより、地域社会から切り離さずに支援していきたいとの理念のもと、『高齢者の気持ちに向き合い、寄り添う』ケア、『高齢者が望む暮らしができるよう、支援内容を個別に調整する』ケア、『介護の必要な高齢者の方々でも、「生活者」としての視点から支えていく』ケアを行ってまいります。そして、必要なときに必要なサービスを提供できる、いわゆる緊急時を支えきれるという利点と介護が必要になっても住み慣れた町で家族や親しい友人とともに暮らしていただくため、「24時間365日、切れ目なく暮らしを支える」柔軟な生活支援を行っていくとともに、地域の方々との集い、交流し、利用者様の気持ちがわくわくするような活動にも積極的に取り組んでいくことを基本理念として高齢者福祉事業に取り組んでいます。

①ケアビレッジたがの里

ユニット型である当施設は、ユニットケアを支柱としており、自宅の本人の部屋を当施設の部屋に移すという考えで実施している。さらに、本人の自宅での暮らしぶりを聴取し、本人らしい暮らしを営めるよう、食事、排せつ、入浴はもちろん、さまざまなところに、本人らしさを取り入れている。

定員は入居が29名、ショートが1名であるが、年間を通じて合計30名の方にご利用いただけただけ。うち、男性が20%、女性が80%で、平均介護度は3.9であった。引き続き、入居者様の笑顔の見える支援に努めて参りたい。

今年度は、熊本市西区の施設において、痛ましい事件が発生した。そのことを受け、当施設では、職員の介護ストレスへの配慮、アンガーマネジメントを実施した。入居者はもとより、職員の変化にもいち早く気付くことが出来る施設を運営していかねばならないことを常に念じ、日々精進して参りたい。

②小規模多機能ホーム きらめき

ご利用頂いた方々の状況は、定員15名であるが、月平均利用者数13名、男性30%、女性70%、平均要介護度は、2.0であった。ご自宅での生活を基本に安心した毎日を過ごせる、小規模多機能型居宅介護に取り組んできた。一つ目は、本人の思いや願いを唱える支援、二つ目は、24時間365日「その人らしい暮らし」を支える支援、三つ目は、馴染みの地域で暮らし続けることの支援、四つ目は地域との支え合い、この四つに取り組んで来た。

③通所介護事業所ニコニコハウス

先代理事長の思い「ゆりかごから天国まで」を合言葉に平成17年に開所し、的確な情報の収集と質の高い介護サービスの提供を行って来たが、通所部門における介護報酬改定のたびに削減されたことや利用者の低迷等により、経営の休止を余儀なくされた年度であった。今後は再開に向け、介護報酬改定の推移を見守るとともに、利用者獲得の可否、事業展開のための最適な立地条件等について検討を加えることとしたい。

公益事業

①居宅介護支援事業所わかみや

平成30年4月1日時点での登録者数は2名であった。そのため、登録者数を増やすべく4月以降、居宅介護支援事業所わかみやについて、PRできるチラシを作成し、社会福祉協議会、地域包括支援センター、玉名郡市のクリニックなどの内科及び他の居宅介護支援事業所などへ営業活動を行った。その後、玉名市地域包括支援センター、熊本市西4地域包括支援センター及び玉東町包括支援センターなどから利用者さんを紹介して頂き、徐々に利用者様の数を増やすことができた。お陰様で平成31年度3月31日時点での登録者数は、23名(男性9名、女性14名)となった。認定区分で見ると、総合事業対象者は4名、要支援1は5名、要支援2は7名、要介護1は4名、要介護2は2名、要介護3は1名であった。

サービス利用状況について見ると、①要支援・総合事業対象者では、通所型サービス(現行)4名、通所型サービス(緩和)2名、訪問型サービス(現行)2名、訪問型サービス(緩和)2名、介護予防訪問リハビリサービス1名など、②要介護者では、通所介護サービス4名、訪問介護サービス2名、訪問介護リハビリサービス1名、訪問看護サービス1名、③福祉用具貸与(予防含む)サービスでは、車椅子1名、歩行器6名、特殊寝台1名、段差解消踏み台1名、段差解消スロープ1名などであった。平均年齢は83.5歳、最年少59歳、最年長95歳であった。

平成31年(令和元年)度も、引き続き、利用者様が、要介護や要支援、総合事業対象者など可能な限りご自宅での生活を維持できるよう支援を行っていく。特に本人のもっている残存能力を最大限に生かし、本人の意向もしっかり尊重しながらサービスを提供していきたい。提供するサービスについては、介護保険サービスに限らず、宅配業者やボランティア活動、ご家族などインフォーマルサービスについても努めて支援に取り入れていく。その他に、熊本市や玉名市、玉東町など行政に関する手続き代行支援を行っていく。更に、利用者様からの要望や相談に応じてケアプランを作成し、そのプランに沿った適切な介護サービスが提供できるよう努めていく。ケアプラン作成後も、月に最低1回は、ご自宅を訪問し生活状況や目標の達成度に応じて、必要があればプランの見直しを行うなど、細やかなマネジメントを行い、安心した在宅生活が継続できるよう努めていくことと

収益事業

①ふれあいホーム ひまわり

地域の方々誰もが低料金でご利用いただける住まいの場である。共益費込の月30,000円で提供している。なお、本法人の施設をご利用いただければ、更に低額の20,000円で提供している。平成30年度は、年度途中での入退所はあったが、8名(男性3名、女性5名)の方にご利用いただいた。次年度も引き続きこの事業を継続することとする。

地域貢献事業（公益的事業）

①一時生活支援事業

この事業は玉名市からの委託事業で、生活困窮者で住まいの場がない方2名（男性1名・女性1名）に住まいの場や食事を提供した。それぞれ住まいの確保が出来たため退去された。

②レスキュー事業

玉名市からの依頼で生活困窮者3名（男性2名、女性1名）にライフライン代の支援、食材の支援、引っ越し代の支援を行った。支援金総額は合計126,536円であった。支援終結理由は、就労による収入増、休業補償及び親族との調整であった。次年度も法人の地域貢献の一環として引き続き本事業を継続する。

③ボールケアあるく

「100歳まで歩ける体力づくり」をモットーに、本法人がある天水の地域ばかりでなく広く荒玉地域にお住まいの御高齢の方々の健康づくりのお手伝いを実施した。年間39回開催し、延べ319人1回当たり8.2名の方にご利用いただいた。利用者の皆さんからは、「腰が伸びた。」「久しぶりに長い距離を歩けるようになった。」「体調を壊して休んでいたがまた（健康の為）やりたくなって参加した。」といったありがたい言葉をいただいた。御高齢の方々が住み慣れた地域で健康に暮らしていただく上では有効と思われる事業であるため、次年度も引き続きこの事業を継続する。

④リハ室トッキー

大切な介護支援ツールの一つとして、リハ室トッキーを運営している。これは、本法人に所属する理学療法士、作業療法士及び看護師等が主体となり、月曜日から金曜日までの午前中、高齢者や障がい者施設利用者に対して行うリハビリ教室であり、利用者が自立した生活を送れることを目的としている。冬場はインフルエンザ予防のため中止することも多々あったが、概ね毎回5名以上の参加をみた。

なお、午後は地域の方々にも開放しているが、情報発信不足からか、今年度はご利用いただけなかった。いつまでも住み慣れた施設や地域で暮らし続けていただくためには本事業は有効と思われるので、次年度も引き続きこの事業を継続する。